

平成21年度大津市事務事業評価（二次評価）事業仕分け結果

班 別	第2班	時 間	14:30~15:15
事業番号	14	所管部課名	福祉子ども部 福祉政策課
事業名	地域福祉基金活用事業（老人給食サービス）		
事業仕分け結果	（1）不要		
訳 内	（1）不要	3名	
	（2）国及び県実施	—	
	（3）市実施 現行通り	—	
	（4）市実施 内容・規模見直し	1名	
	（5）市実施 民間委託	—	
	（6）民営化（NPO、地域団体含む）	1名	
<p>【事業仕分け判定に係る意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業自体は否定しないが、目的は既に達成、一度リセットして新たに社会福祉協議会や地域の取り組みとして行うことが必要である。 ・事業の役割は終了、他の同じような事業と統合して効果的な事業として発展していくことが必要である。 ・給食サービスとしては不要、月1回での効果は疑問。この経費で他の事業を検討されたい。 ・行政の支援なしで行われているところも多くある。行政が公助するべき分野に目を向ける必要がある。 ・事業を継続するのはかまわないが補助金は不要である。社会福祉協議会と自己負担にて実施すべきである。 			

事業仕分け発言要旨	
コーディネーター・評価者	事業説明者・補助者
	・事業概要説明（省略）
<p>・地元でNPO法人を立ち上げて介護予防の事業所指定を受ければ可能である。</p> <p>・安否確認についても地域包括支援センターで事業立てされており、見守りもメニュー化されているのでそういうものを使って行うことは十分可能である。</p>	—
<p>・こういったものを政策目標としてあげているのか。地域支援事業（介護保険）ではできないサービスとしてこの事業がある必要性は。</p>	<p>・地域で老人を見守る。それを支援し、地域にて継続的に活動していただく。</p>
<p>・市は金銭面の補助をする以外に何をしているか。</p>	<p>・実際の実施主体は各学区社会福祉協議会であり、大津市社会福祉協議会が統括し事業を実施している。それに</p>

	<p>対しての活動費を大津市が負担している。</p>
<p>・市は補助金を交付しているだけで、事業が終了しているように思える。補助金がどのように有効に使われているか、どういう成果が出ているか認識されているのか。</p>	<p>・各学区社会福祉協議会から実績報告の提出を求め、内容は把握している。地域の方が訪問することや、会食をすることで一定の成果が出ているものと思われる。</p>
<p>・月1回の活動で安否確認できるのか。</p>	<p>・月1回ではあるが、給食を作って、訪問し安否確認を行っておられる方は皆さんボランティアで行っていただいております。地域の福祉の力によってなされている事業である。材料費等の必要な経費について、市の補助金や募金を使用しているが、地域福祉の力なしには成しえない事業。地域福祉の力を蓄えていただくために非常に役立っている事業という部分から評価をいただきたい。</p>
<p>・自助、公助、共助の境が、あいまいである。行政として何をすべきか。今後、規模が大きくなれば、行政の支出も増えるようにとれるが。</p>	<p>・あくまで共助なので地域でやるべきという考えもあるが、共助の部分ではあるが、それを支えていく方法もあるのではないかと考えている。</p>
<p>・平成6年までは市社会福祉協議会の独自財源で行われていたのか。</p>	<p>・昭和59年に6学区がモデル地区としてスタートし、補助金としては昭和60年から始まっている。</p>
<p>・学区社会福祉協議会が実施したいと言ったというよりも市から政策的に実施して欲しいということでスタートしたのか。</p>	<p>・市社会福祉協議会がボランティア活動としてスタートしたのに対して市が追随したものである。</p> <p>・1年目のみ共同募金の当初の経費で、2年目からは市の補助金加わる形である。</p>
<p>・この事業について補助金がないと市社会福祉協議会は活動が無理と言っているのか。</p>	<p>・老人給食サービスの補助金は、市社会福祉協議会から学区社会福祉協議会への助成金の財源として大きな割合を占めており、この補助金なくなると、その分、募金（配分金）を使うことになり、他の事業にしわ寄せが出る。</p> <p>平成16年に見直しがあり、2割削減されているところである。</p>
<p>・利用者の声、満足度等は聞かれたことがあるのか。</p>	<p>・市社会福祉協議会を通じて地域の声として報告を聞いている。手作りのよさ、業者とは違う。また、包み紙にお便りや子どもからのメッセージ添えられており喜ばれている。</p>

<p>(コーディネーター)</p> <p>・当初の目的はかなり達成できていると感じる。補助金は恒常的に出し続けるのではなく、そういう体制ができるまで、あくまできっかけづくりとしてのみで良い。なぜ健康長寿課で実施されている配食サービス等と成果が一緒になって活かせることが出来ないのか。行政の縦割りを感じて残念である。</p>	—
---	---